

通常の物理記録装置に対する出力先を“外部ファイル”と呼び、もう一方“内部ファイル”へ入出力する事がREADとWRITE文には可能です。

これは JIS 規格にも定められた共通規格で、標準規格を満たした Fortran であれば必ず実装されている機能となっています。

詳しくはJIS規格 Fortranの9.2章に定義があります。

9.2 ファイル ファイル(file)は、記録の列とする。ファイルは、次の2種類とする。

(1)外部ファイル

(2)内部ファイル

とあり、さらに、

9.2.2 内部ファイル 内部ファイルは、内部記憶から内部記憶へデータを転送したり変換したりする手段を 与える。

9.2.2.1 内部ファイルの性質

内部ファイルは、次の性質をもつ。(1)ファイルは、ベクトル添字をもった部分配列でない基本文字型の変数とする。

とあります。表現が難し過ぎてわかりにくいのですが、一方の内部メモリーからもう一方の内部メモリーへ文字列の変数を渡して型変換を行う、ととらえて問題ないと思います。9.2.2 節以下にはさらに条件が細かく定義されていますが、参考程度に見ておかれると良いと思います。

上記の様にWRITE文だけでなくREAD文にも可能です。

質問の例では

```
READ(myrankchr,*) myrank
```

で逆に myrankchr の文字列を myrank の integer へ変換してくれます。